

## ■ 観天望記（編集委員会から）

編集委員長 石垣（20期）

鈴木前会長、9年間お疲れ様でした。本会報で毎回ご挨拶をしていただき、更に鈴木画伯作の絵画を沢山出展され、文化の香る格調高い会報にさせていただき、ありがとうございました。文化の香りを継続すべく、今回は小生が絵画をと考え裏表紙に富士山の絵を載せました。しかし、筆さえ持っていない凡人の小生が何故絵を描けたのか？ 疑問が残りますよネ。答は、今の世の中には文明の利器があるからです。AIを使って写真から絵を作るサイトがありますので、PCさえあれば簡単に作れます。世の中、便利になりました。

西田新会長、今後とも宜しく願います。白木幹事長が本紙P2で西田会長の現役時代のエピソードを披露されていますので、本欄でも1つ。懐かしのマンガで「巨人の星」があり、主人公の星飛雄馬は大リーグボール1~3号の魔球を投げていました。2号は消える魔球、3号はバットをよける魔球です。1977~1978年の執行部会で議論が白熱し收拾がつかなくなると、当時主将だった西田会長は人を煙に巻くような(?)2号を投げ、サッと議論を収めます。また、強烈な意見・質問が出た時に投げる魔球は3号で、議論が噛みあわず皆が冷静になり、場が落ち着きます。当時からこのような魔球を投げていた大投手は、今後OB会の更なる発展のためにどんな魔球を投げるのでしょうか、期待しています。そして、微力ながら小生も尽力いたします。(ちなみに、1号はよけたバットに当たる魔球ですが、当時これを投げていた人の説明は紙面の関係で割愛いたします)

### 編集委員会からのお知らせ

YW 創部60周年記念事業の一つとして、OB山行委員会と共同で過去のOB山行を網羅したOB山行集「片雲の風に誘われて」を制作いたしました。

本会報に同封いたしましたので、是非ご覧ください。